

協和産業(高松市)

ポリプロピレンフィルムを製造加工

主にパンや野菜などの食品包装袋や文房具のクリアファイルなどに加工するポリプロピレンフィルムを製造する。

溶かした樹脂を筒状のフィルムに成形し、水で急速に冷ますことでフィルムの透明度を高める「水冷式インフレーション成形」を採用。生産量の6割を食品包装用が占め、結露を軽減したり、柔軟性を高めて破れにくくするなどさまざまな機能を備えたフィルムを製造する。

これに次ぐのがクリアファイル。環境意識の高まりに対応してリサイクルに力を入れ、再生原料を70%使用した商品もある。食品検査などで使う耐熱性を高めた加熱殺菌処理用のフィルムも手掛ける。

安価な輸入品の増加を受け、フィルム製造だけでなく、フィ

ルムの袋などへの加工も一貫して請け負う。加工にかかるコストの削減や納期短縮の付加価値を付け、シェア拡大を図る。



■DATA

- ▷本社 高松市屋島西町
- ▷設立 1964年12月
- ▷資本金 3千万円
- ▷従業員数 55人
- ▷売上高 12億2500万円(2010年8月期)
- ▷経常利益 1400万円(同)
- ▷社長 松岡聖士

香川の500社